

産廃経営塾に参加して

私は産廃経営塾に入塾し、2つのものを得ました。

一点目は言わずもがな産業廃棄物に関連する事柄の知識です。多岐にわたる講義内容と充実した講師陣から受ける専門的な講義は間違いなく自らの知識の源となります。

二点目は同じ志を持つ仲間を持つことができたことです。私自身この業界の知識が浅く業界内のつながりもありませんでしたが、本塾に入り長い期間を共に過ごす事で、悩みを共有し合い解決し合いました。

このような機会を与えてくれる場所は他にはないと感じます。

第14期卒塾 株式会社中特ホールディングス 吉本 龍太郎

産業廃棄物処理業経営塾を受講して

受講して得られたことは、全国各地の同業者の皆様との出会いです。産業廃棄物処理業には様々な業があり、出会った皆さまの特色も様々です。収集運搬業を主に展開している方や、最終処分のみで実績を上げている方など、私が経験していた産業廃棄物の世界とは違った側面を学べたことです。

弊社は、全国でも稀なタイプであり、自社の環境のありがたさや、同期一人一人の仕事に対する工夫や考え方から、多くの刺激を頂きました。産業廃棄物処理業は都道府県ごとのスタイルがあり、活動の範囲も変わってきます。10年後、20年後、産業廃棄物処理業者として、社内の課題や、地域性の課題、全国的な課題など皆様感じていらっしゃると思いますが、経営塾の環境を通じて、大きく学べる点は、客観的に自社の取組について考える時間を得られるという点が一番大きいかと思います。これから、経営塾を受けてみようと考えている方は、ぜひ参加してみてください。

第12期卒塾 株式会社富士クリーン 取締役 馬場太一郎

産業廃棄物処理業経営塾を受講して

私が入塾して一番期待したことは、各分野のエキスパートから多くのことを学び、1日でも早く実務に取り入れ、さらには今後の経営に活かしていける、そんな講義に参画できる絶好の機会であると思い入塾しました。

受講してみて感じた感想は、通常開催されている講習会は参加人数も多く、また質問する時間も短いため、なかなか自ら参画していける形ではない反面、当塾では受講人数が一定していて質問しやすいという、受講者参画型の環境の中で勉強できた点です。

また一期より二期、二期よりも三期になるに従って受講者の改善要望を聞き入れてもらい、講義内容がグレードアップされている点は大変嬉しく感じております。「やらされ」意識がなくなり、受講者が要望事項を出し、それが継続的に改善されていく。そんな受講者参画型の塾であれば、有意義な時間となり、より多くの優良処理業者が育成されていく場となるのではないかと期待しております。

第1期卒塾 高俊興業株式会社 代表取締役社長 高橋 潤